

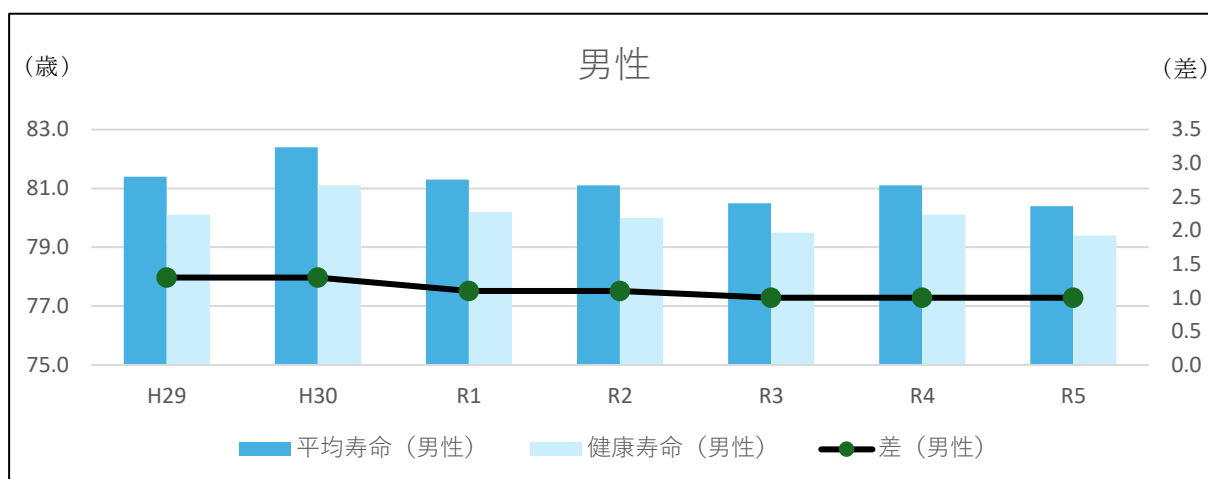
## II 山陽小野田市を取り巻く現状

### 1 健康寿命

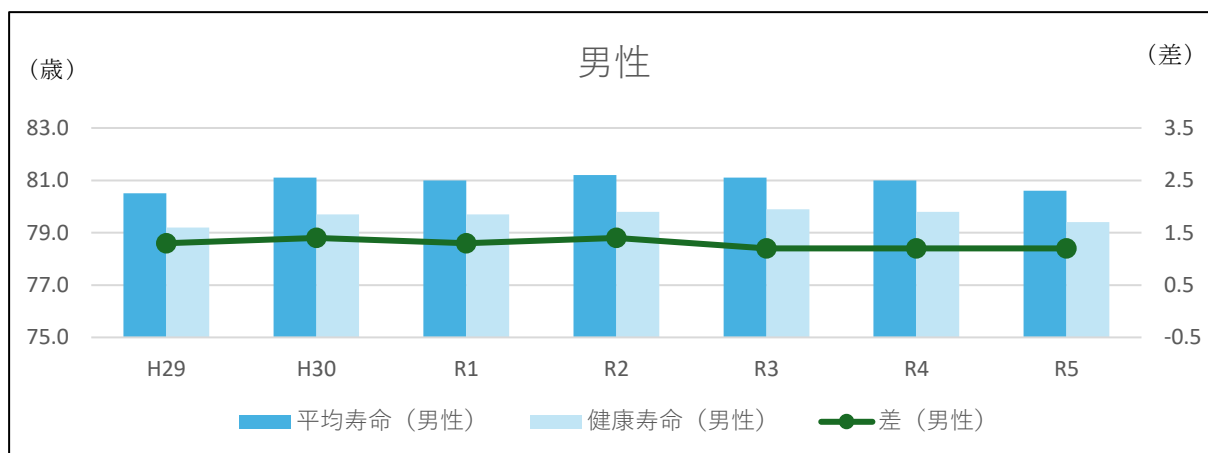
令和5年度は、男性は、前年度と比較して平均寿命と健康寿命とも短くなっており、その差の変化はなかった。また、平均寿命は、山口県と比較して若干短く、健康寿命は同じであり、平均寿命と健康寿命の差をみると、山口県より短かい結果となった。

女性は、平均寿命と健康寿命とも前年度と比較して短くなっており、その差も若干短くなった。また、平均寿命、健康寿命とも山口県と比較して長く、平均寿命と健康寿命の差をみると、山口県より短かい結果となった。

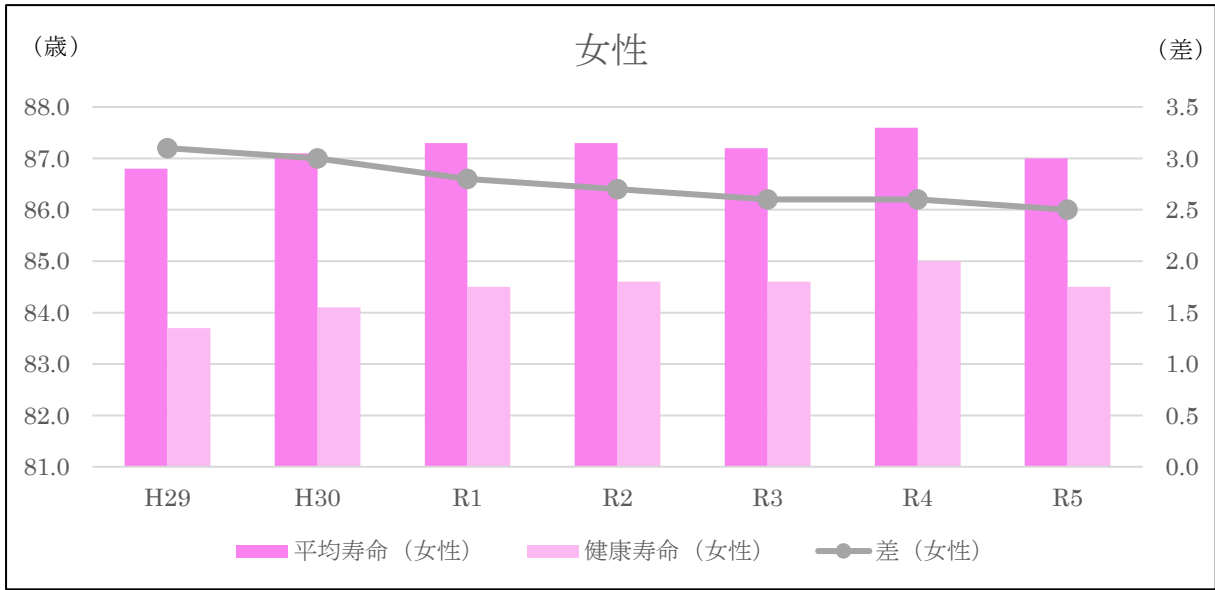
【山陽小野田市 男性】



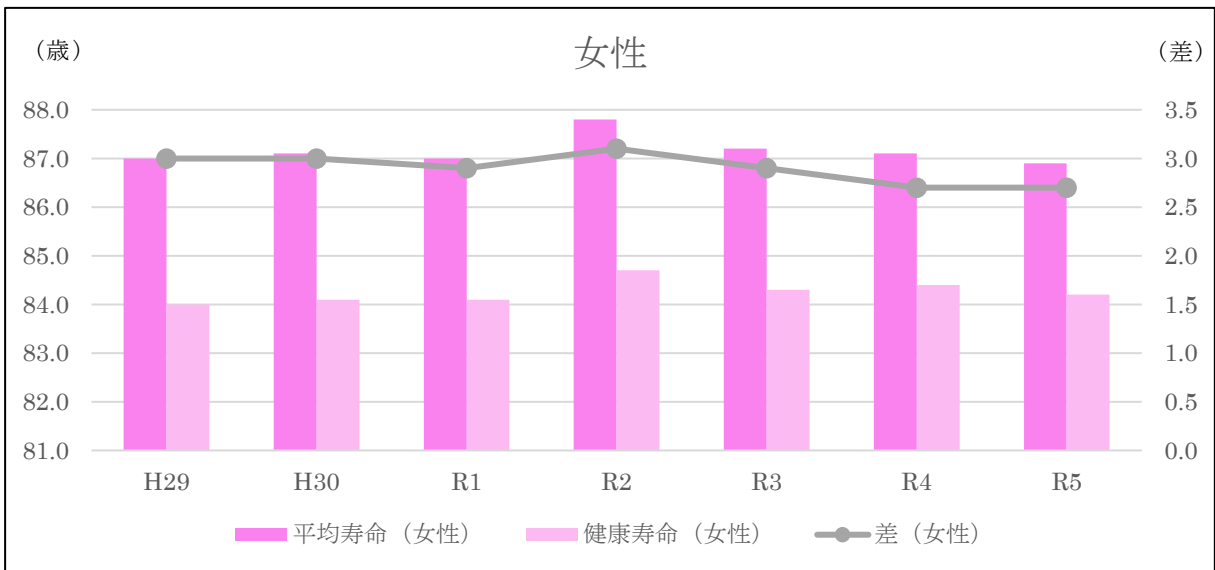
【山口県 男性】



【山陽小野田市 女性】

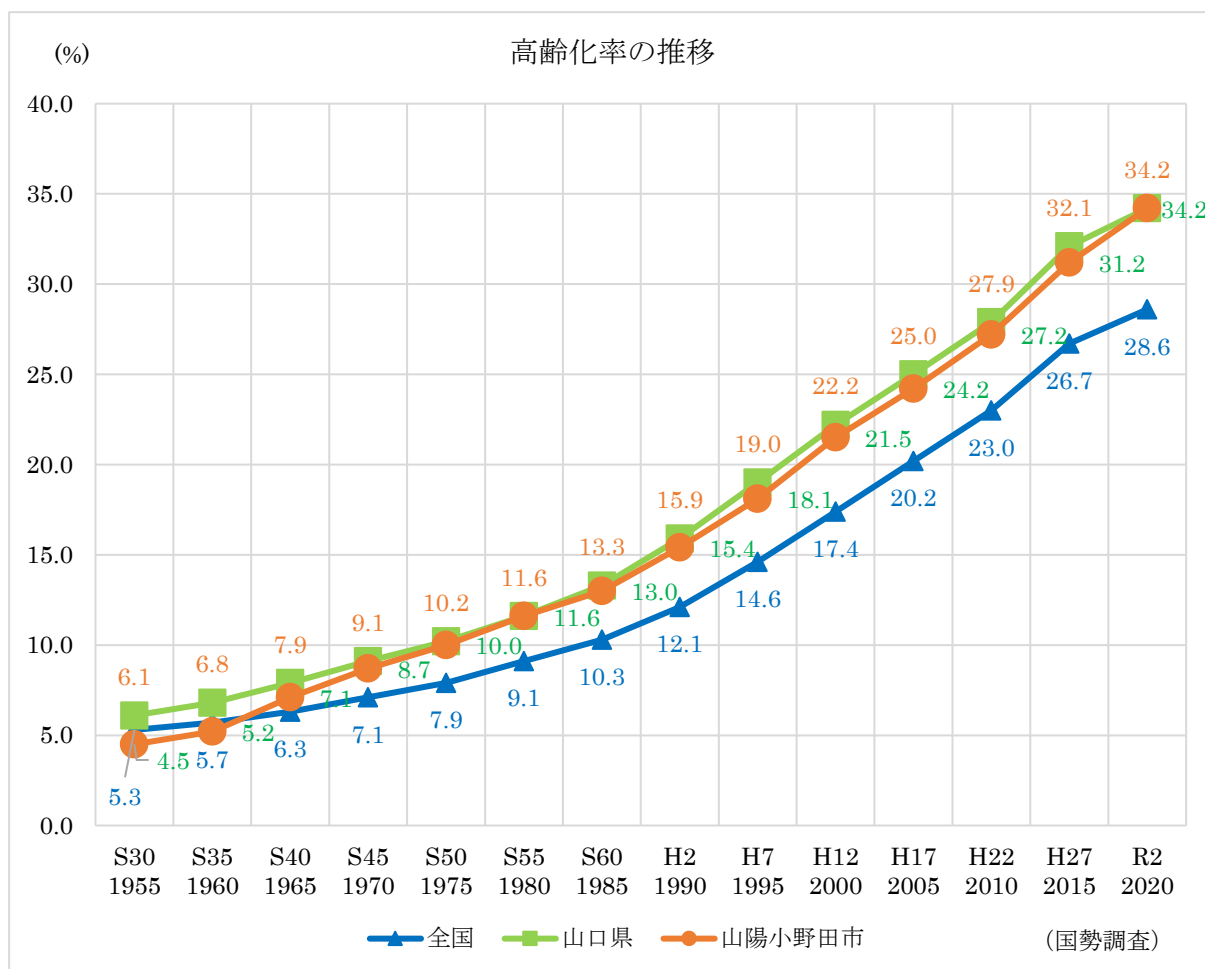


【山口県 女性】



## 2 高齢化率

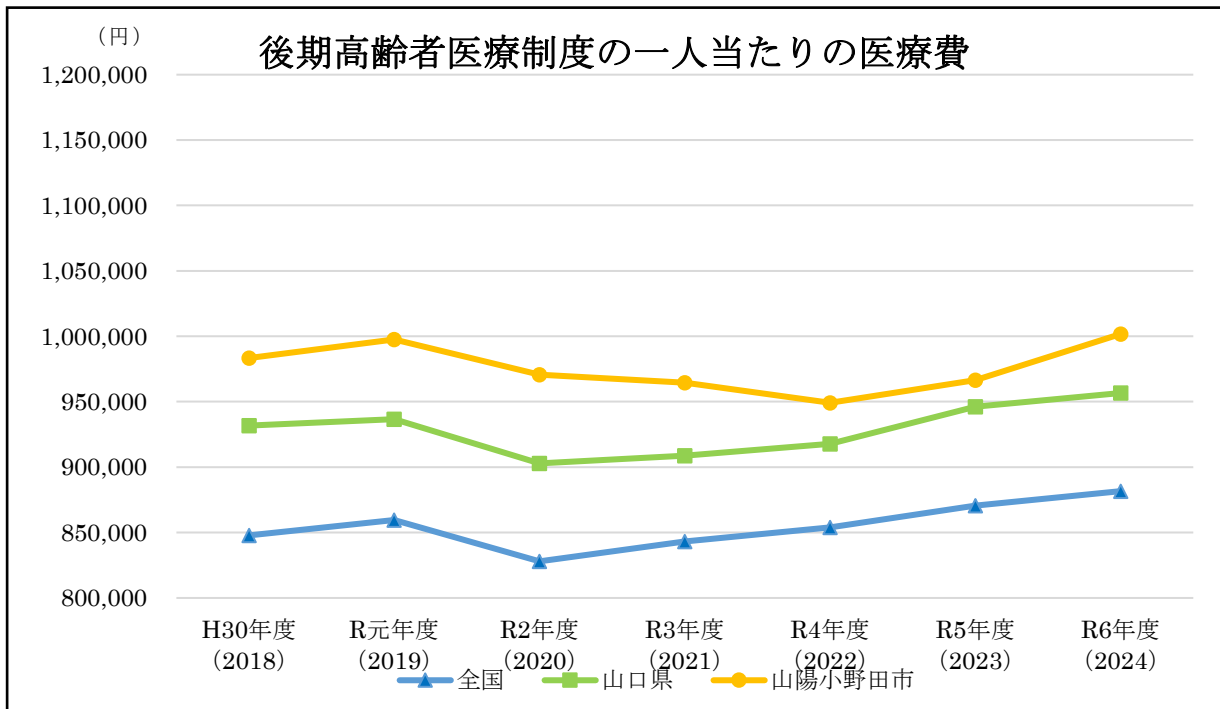
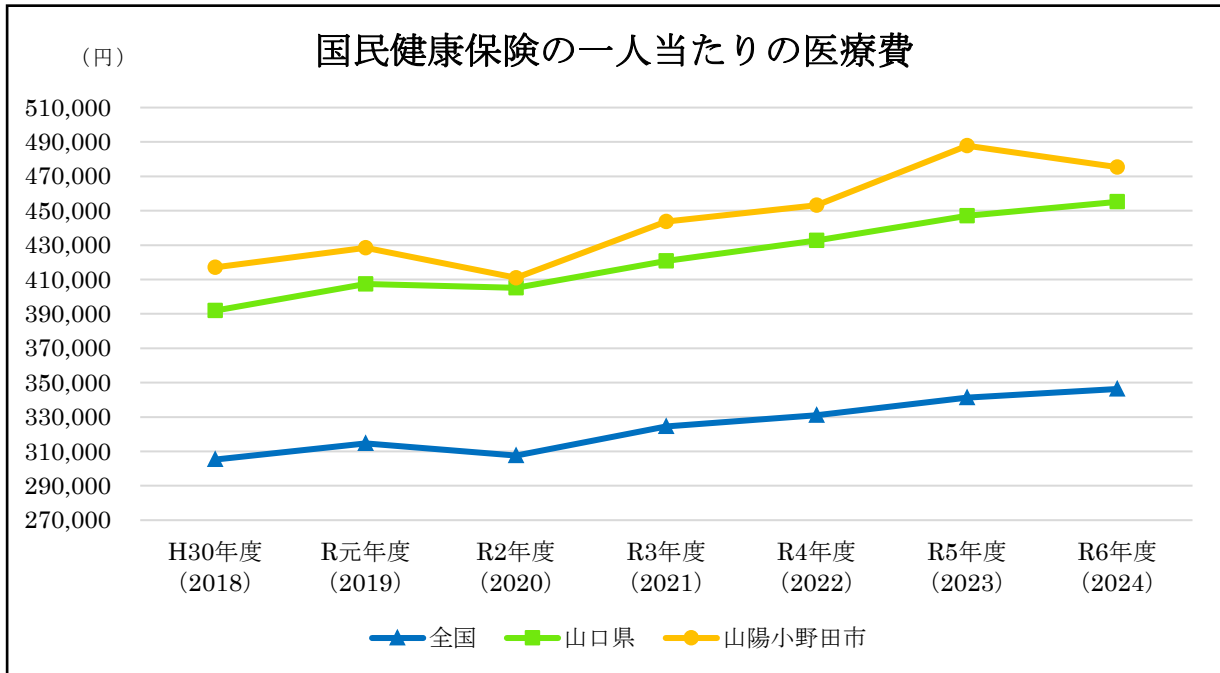
本市の高齢化率（65歳以上人口割合）は、令和2年（2020年）時点で34.2%となっています。国平均よりも10年程度早いペースで進展してきており、今後も上昇が見込まれます。



(出典)総務省「国勢調査」

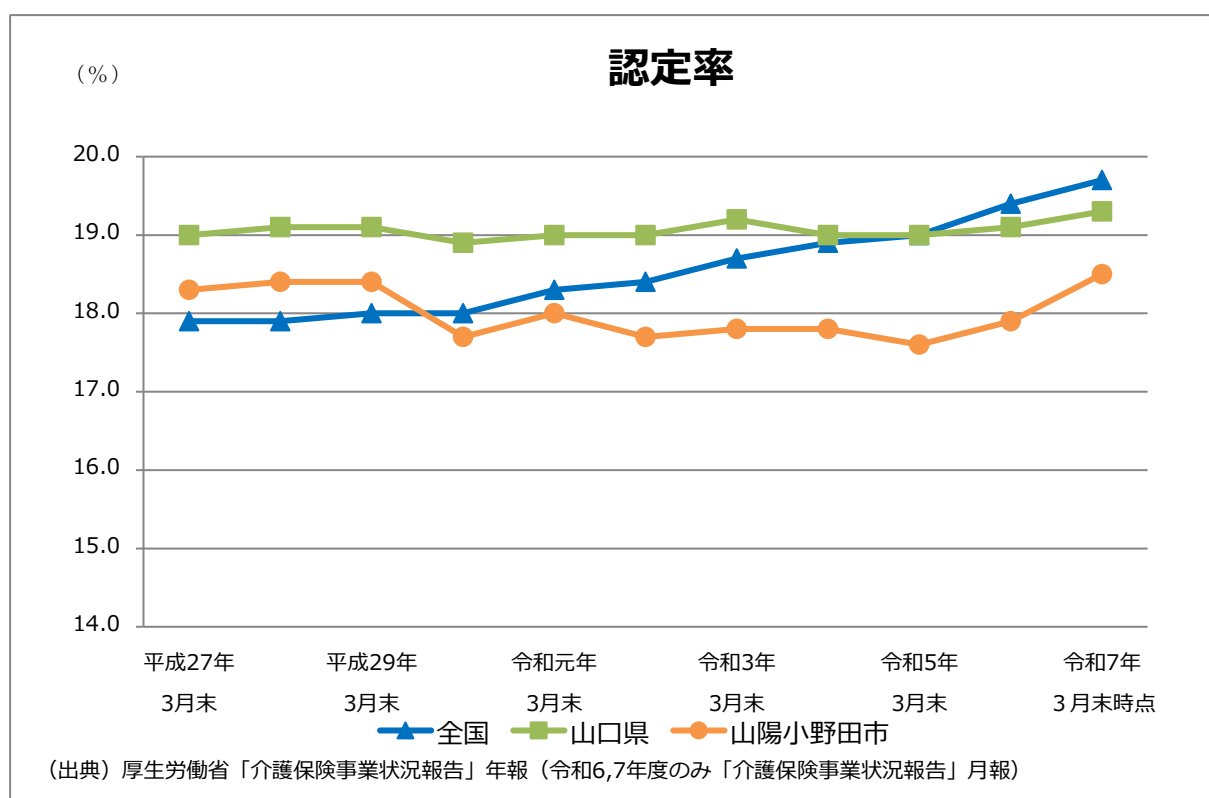
### 3 医療費

本市の国民健康保険及び後期高齢者医療制度の一人当たりの医療費は、国や県の平均と比較して高い状況です。



## 4 要介護・要支援認定率

本市の要介護・要支援認定率は、令和7年3月末時点で18.5%となっています。平成29年度に総合事業が開始された影響で認定率は一時的に低下しましたが、その後は横ばいで推移していました。令和5年度以降はやや上昇傾向がみられています。

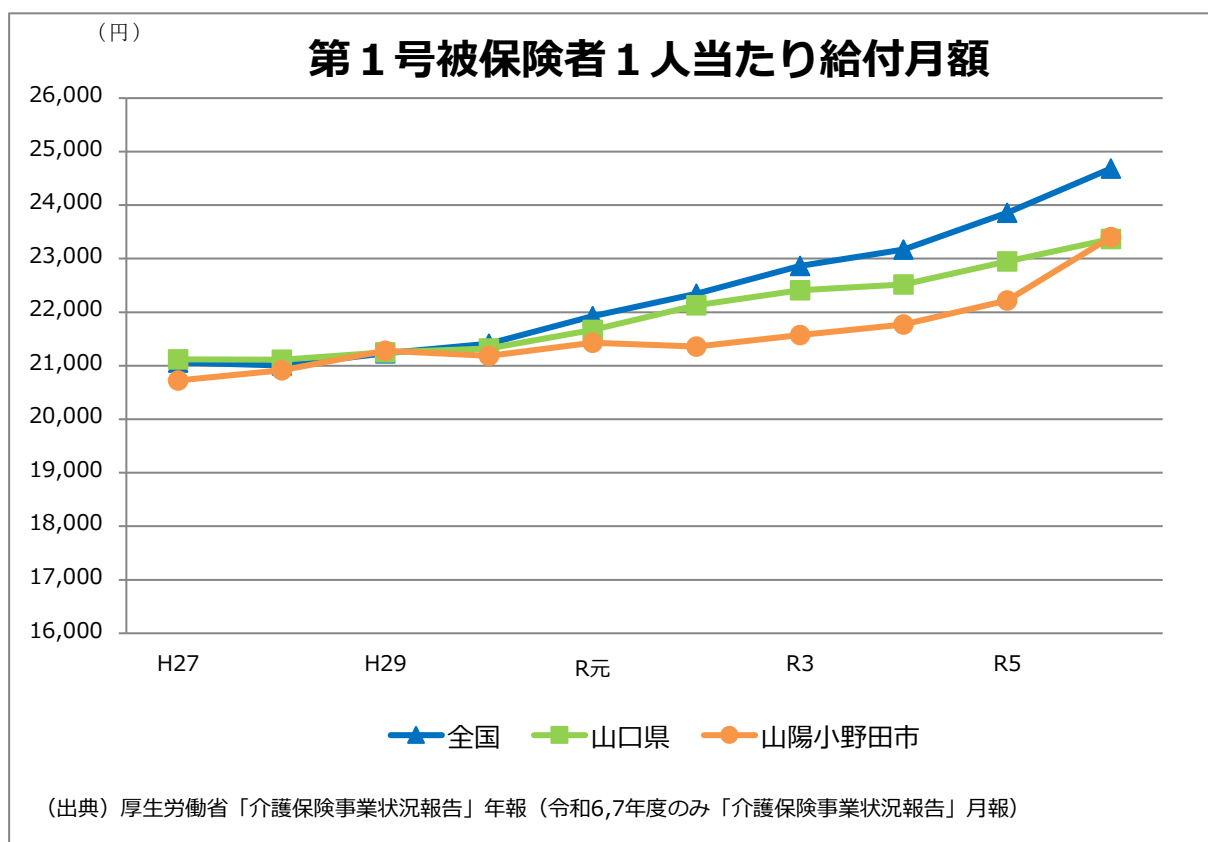


※要介護・要支援認定率とは

65歳以上の介護保険被保険者(第1号被保険者)の総数の中で、要介護及び要支援の認定を受けている人の割合を示します。

## 5 介護費用額

本市の介護費用額は、令和7年（2025年）2月時点で、被保険者1人につき1月当たり23,402円となっています。国、県の給付月額が増加しており、市も同じく増加となっています。



### ※介護費用額とは

65歳以上の介護保険被保険者（第1号被保険者）のサービス（在宅・居住系・施設）にかかる1人1月当たりの費用の合計額です。

◎本市を取り巻く現状から、今後も上昇をすることが予想される高齢化率に伴い、国民健康保険及び後期高齢者医療制度の医療費や介護保険の要介護・要支援認定率、介護費用額は上昇するものと見込まれます。